

令和2年度 社会福祉法人未来 本部事業計画

1 はじめに

令和2年度の事業計画の基本的な方向性は前年度と同じである。本部としては、機能の強化とリスク管理の徹底が主な課題となるが、法人全体としては各事業所の事業充実、その為の職員の定着率向上とチームワークの形成がまず重要課題となる。また、各管理職においては、事業や経営状態の把握と課題に対する迅速な対応についても、重要テーマに取り組んでいきたい。

さらに、リスク管理においては、交通安全はもとより、他害や離接、誤薬等の防止に加え、昨年から新型コロナウイルスの流行を受け、感染症への対策が重要な課題となる。

報酬改定を控えているうえ、新型コロナウイルスの流行のように外的要因もあり、各事業の今後の見通しもたてにくい状況であるが、事業所間の連携を密にし、地域の社会資源の充実のために取り組んでいきたい。

2 重点課題・目標

1) 事業

- (1) 各事業所の職員数確保及び職員定着率の向上
- (2) 地域生活支援拠点事業への取り組み
- (3) 令和3年度さかえホーム（共同生活援助、短期入所併設事業所）開設の準備
完了事項—小平市障がい者福祉課との計画合意、設計・監理業者の選定
実施事項—入居者の選定、資金計画の作成（自己資金、補助金、借入金の金額精査）
補助金申請、建設業者の選定、事業計画及び予算書の作成
- (4) 新規生活介護事業開設に向けた検討
- (5) 新規グループホーム開設に向けた検討（令和7年度以降）
- (6) 地域貢献事業の取組
- (7) リスク管理の徹底
 - 1) 安全運転管理の徹底（送迎中等の安全運転及び事故防止の徹底）
 - ① 安全運転講習の実施
 - ② ドライブレコーダーの全車配備
 - ③ 定期的な安全運転チラシの配布
 - 2) 利用者支援における事故防止の徹底
 - 3) 法制度に基づいた労務管理の徹底
 - 4) 感染症防止対策の徹底

2) 人材育成

- (1) 本部事務能力向上及び施設長による法人業務の分業による経營業務の円滑化
- (2) 施設長の育成
 - ① 事業の現状把握、分析、見直しを行うための能力向上
 - ② 事業計画書、実績報告書の作成スキル向上
 - ③ 事業所の業務監督能力向上
 - ④ 職員育成の手法取得

(3) 管理職候補の育成

- ① 実践を通して候補者を育成する
- ② 理事会の傍聴や経営会議等への参画による知識向上
- ③ 学習会の実施

3) 経営管理

- (1) 会計ソフト変更の検討
- (2) 月次試算分析による経営状況把握及び課題への改善策の立案
- (3) 人事業務に関する制度および規程等の習得
- (4) 理事会開催事務の円滑化

3 その他

1) 理事会

- ・月1回定期的に開催し、事案に迅速に対応していく。
- ・令和3年の役員及び評議員改選に向けた準備を法制度に基づき計画通り実施する。

2) 評議員会

- ・6月の定時評議員会のほか、定款変更など必要に応じて開催する。
- ・令和3年の役員及び評議員改選に向けた準備を法制度に基づき計画通り実施する。

3) 広報活動の強化

機関誌の年2回の発行、ホームページの定期的な更新により、広報及び情報の開示を行なう。

4) 賛助会の充実

法人の活動に対して機関紙の発行時などを中心に広く理解を求め、賛助会を充実させる。

5) 地域ネットワークの強化

- (1) 権利擁護事業・成年後見事業との連携強化
- (2) 防災活動
- (3) 自立支援協議会への参画
- (4) 小平市地域公益活動推進連絡会への参画